

# リリースノート—AJA Adobe Plug-ins

## Windows v10.5.2

### 動作環境

---

- ・ Windows 7, 8(64bit)
- ・ QuickTime™ 7.6 以上
- ・ KONA シリーズ、Io Express、Io XT、T-TAP v10.5.1 ドライバ以降
- ・ Premiere Pro CC/CC 2014, AfterEffects CC/CC 2014, Photoshop CC/CC 2014 Prelude CC/CC 2014, Speed Grade CC/CC 2014 (いずれも最新バージョンへのアップデートを推奨します)
- ・ Adobe社の認定するMercury GPUの使用を強く推奨します。

### 新機能

---

- ・ 新しい Premiere Pro Transmit Plug-in のハードウェア バッファリング設定  
Premiere Pro > 環境設定 > 再生 > ビデオデバイス > 設定 > バッファモード
  - ・ **Standard** - 8フレームのバッファを使用するデフォルトのモードです。  
テープにマスタリングを行う際の使用を推奨します。
  - ・ **Minimum** - 3フレームのバッファを使用するモードです。  
システムリソースが追いつかない場合に出力のフレーム落ちが発生する可能性が高くなりますが、タイムラインの再生/停止/JKLパフォーマンスを向上させることができます。
  - ・ **Maximum** - 14フレームのバッファを使用するモードです。  
頻繁にフレーム落ちが発生する場合は、システムリソースのパフォーマンス不足が考えられます。以前のMac Miniや、推奨されるMercury GPUを使用しないシステムでフレーム落ちの発止頻度を下げることが期待されます。
- ・ AfterEffects が間違った出力チャンネルを使用する問題を修正
- ・ オーディオハンドリング性能の強化
- ・ Premiere ProでのJKL性能の改善（上記ハードウェア バッファリングの変更を参照）
- ・ AfterEffects の16 bpcのプロジェクトを表示するときの問題を修正
- ・ Premiere Pro のキャプチャにおいて、ファイル名に2バイト文字を使った時に起こる問題を修正

Because it matters.



- ・ Premiere ProにおいてAJA コントロールパネルでVANCをONにした時に、不正な黒レベルとなる不具合を修正
- ・ Premiere Proにおいて、タイムラインの最終部分でJKLコントロールを行った際にPremiere Proのクラッシュを引き起こす可能性がある問題を修正
- ・ Premiere Proの再生開始時に、1~2フレームA/Vシンクが取れないことがある問題を修正

## 既知の問題

---

- ・ Windows上での4Kキャプチャは、DPXキャプチャーのみ動作します
- ・ lo 4KとMacによる4Kキャプチャは、非圧縮8ビットYUVのみ動作します。
- ・ Premiere ProにおけるKONAからの音声出力は、タイムラインをスクラブしながら'再生'を行った場合に動作を停止することがあります。このような場合はデスクトップや他のアプリケーションなど Premiere Pro以外のウィンドウをクリックし、再度Premiere Proに戻ります。また、最新のAJA プラグインをインストールしていることを確認してください。
- ・ クラッシュキャプチャにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャすることは出来ません。RS-422タイムコードの代わりにSDIエンベデッド タイムコードを使用してください。
- ・ VFRにプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・ HD-SDI経由のクラッシュキャプチャおよびプリントにおいてVaricamフレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャやバッチキャプチャは行えません。
- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目202"ID SEL"が "OTHER"に設定されていることを確認してください。
- ・ デッキ制御において3秒以下のプリロールは推奨しません
- ・ Premiere Proのモニタ設定のデフォルトは”最初のフィールド”となっています。インターレースを正しく表示するには”両方のフィールド”を選択してください。
- ・ Premiere Proのキャプチャウィンドウを開いた状態で、デッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
  - ・ 同じキャプチャーセッション中にDFとNDFのテープの混在がなければ、この問題はユーザーに影響しません。
  - ・ 回避方法：テープチェンジ時に表示されるダイアログにてテープ名を与え、OKをクリックする前に新しいテープをスプールしてください。
  - ・ 問題を避けるには：キャプチャーウインドウを一度閉じて、再度開きます。
- ・ Panasonic D5デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソースの設定をLTC+VITCにしなければなりません。

## バージョン履歴

---

### 10.5.1 - Release Date: April 19, 2014

## 修正点

- ・ プラグイン インストーラーをAdobe CC 2014(2014年6月リリース)に対応するよう変更

# 10.5 - Release Date: January 28, 2014

## 新機能

- ・ 10 4K サポート

## 修正点

- ・ After Effects アルファチャンネル対応の不具合を修正

# 10.4 - Release Date: June 17, 2013

## 新機能

- ・ Adobe Premiere Pro CC, After Effects CC, Photoshop CC, and Speed Grade CCをサポート
- ・ Windows 8 サポート
- ・ 新しいPhotoshop キャプチャープラグイン
- ・ KONA 3G, v10.4.0 ドライバの4Kモードにおける4K, QuadHD キャプチャーをサポート
- ・ KONA 3G, v10.4.0 ドライバの4Kモードにおける4K, QuadHD 29.97/30fpsをサポート
- ・ Premiere Proのボイスオーバー機能をサポート(PDFマニュアル参照)
- ・ After Effects からのオーディオ出力をサポート
- ・ 16チャンネルオーディオに対応するデバイスを使用したPremiere Proでの16チャンネルオーディオキャプチャーをサポート(KONA 3, KONA 3G)
- ・ 16チャンネルオーディオに対応するデバイスを使用したPremiere Pro CCでの12チャンネルオーディオエクスポートをサポート(KONA 3, KONA 3G)
- ・ AJA Transmitプラグインの”マッチコントロールパネル”モードを用意
- ・ After Effectsプラグインに”Disable”チェックボックスを追加。これによりプラグインをアンインストールすることなくAJAハードウェアを遮断することが可能となります。

## 修正点

- ・ Premiere ProでDVCPProHD, CineForm キャプチャー設定を使用してキャプチャーした場合、実際には圧縮されないファイルが作成される問題を修正
- ・ AJAコントロールパネルで720p, 2Kモードを選択するとき、After Effectsがクラッシュする問題を修正
- ・ After EffectsからのRAMプレビューパフォーマンスの向上
- ・ Premiere Proのテープへ書き出しにおける”Print to Video”を修正
- ・ Premiere ProとKONA LHiの1080p50/59.94/60キャプチャー機能を修正
- ・ Premiere ProでDNxHDキャプチャーする際のオーディオ クリックノイズ問題を修正
- ・ Premiere Proのオーディオのみのインサート編集における問題を修正
- ・ Premiere Proでキャプチャーしたファイルに”Compressor Info”のメタデータ・フィールドを追加
- ・ AJA Transmit プラグインがより正確に720pのシーケンスを検出し、AJAハードウェアを設定するようPremiere Proのマッチシーケンス機能を修正
- ・ Premiere ProのSDI エンベデッド タイムコードが常にノンドロップフレームである問題を修正
- ・ Premiere Proでテープへ書き出し中、作業をキャンセルできない問題を修正
- ・ Premiere Proでユニコードキャラクタを含むファイルネームのキャプチャーにおける問題を修正

- ・ Premiere ProでIo Expressを使った非圧縮キャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでビデオキャプチャ終了後、キャプチャウィンドウが空白になる問題を修正
- ・ Premiere Proのタイムラインで再生停止を繰り返した際、A/Vシンクが断続的に外れる問題を修正
- ・ Premiere ProでCineform コーデックを使用したバッチキャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでバッチキャプチャーの際、1つのクリップがコマ落ちや失敗する問題を修正

## 対応製品

---

以下の製品は、この最新版によってサポートされます。

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| ・ KONA 3G       | ・ Io 4K      |
| ・ KONA 3        | ・ Io XT      |
| ・ KONA LHi      | ・ Io Express |
| ・ KONA LHe Plus | ・ T-TAP      |